

## は し が き

国立教育政策研究所では、研究成果を教育現場をはじめとして国民の皆様に広く普及し、学校運営や教育指導法の改善、教員の資質向上などに役立てていただくという趣旨により、平成2年度より教育研究公開シンポジウムを毎年開催しています。

今回の第28回教育研究公開シンポジウムは、「高等学校教育改革の成果と今後の在り方を考える」というテーマにより、平成21年8月に東京で開催しました。

高等学校進学率が約98%に達し、進学率の上昇に伴って生徒の能力・適性、興味・関心、進路などが多様化する一方で、高等学校の生徒数は、最も多かった平成元年の約6割の水準にまで減少し、高等学校の適正配置・適正規模の在り方が課題となっています。

このような中、本シンポジウムは、本研究所が実施したプロジェクト研究「今後の後期中等教育の在り方に関する調査研究」の研究成果を踏まえ、高等学校教育の多様化・特色化に関する取組の成果と課題、高等学校の再編整備の動きを整理するとともに、今後の高等学校教育の在り方について検討することを目的として実施され、当日は教育委員会関係者や大学関係者を中心とする約200名の参加者のもと、熱心な報告・討論が行われました。

本報告書は、このシンポジウムにおける報告及び討論の内容をまとめたものです。各高等学校における教育の改善・充実に向けた参考となれば幸いです。

平成22年3月

国立教育政策研究所長

素 川 富 司

# 目次

はしがき

【主催者挨拶】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

素川 富司（国立教育政策研究所長）

【第一部・基調報告】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

前川 喜平（文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育担当））

【第二部・研究報告】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

「高等学校教育改革の動向と課題」

屋敷 和佳（国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部総括研究官）

【第三部・パネルディスカッション】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

「高等学校教育改革の成果と展望」

報告1 「高等学校教育の現状と展望」

戸谷 賢司（全国高等学校長協会会長・東京都立文京高等学校長）

報告2 「都道府県における高等学校教育改革の成果と今後の展望

～三重県の取組について～」

岩間 知之（三重県教育委員会教育改革室長）

報告3 「高等学校教育改革の質の向上と高等学校改革」

坂野 慎二（玉川大学教職大学院准教授）

報告4 「高大接続の視点から見た高等学校教育の在り方」

山村 滋（大学入試センター研究開発部教授）

【ディスカッション】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101

コーディネーター 工藤文三（国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長）

パネリスト 戸谷賢司、岩間知之、坂野慎二、山村滋